

疾病論1 単位認定試験 (22 回生)

1. 腰椎椎間板ヘルニアは、椎間板から (①) が脱出し、(②)、(③)、(④) を圧迫する疾患である。症状としては、(⑤)、(⑥)、(⑦) などがある。
① 椎間板ヘルニア ② 神経根 ③ 神経根 ④ 神経根 ⑤ 腰部疼痛 ⑥ 膀胱直腸障害 ⑦ 下肢の疼痛
 2. 腰部脊柱管狭窄症は、腰椎の (⑧) による変性によって、(⑨) や (⑩) が圧迫されて、症状を引き起こす。特に歩行状態に特徴があり、(⑪) が出現する。
⑧ 加齢 ⑨ 神経根 ⑩ 神経根 ⑪ 間欠性跛行
- ここからは、脊髄損傷に関連する問題
3. 脊髄損傷は、脊柱管にある脊髄が損傷することにより、(⑫) 障害、(⑬) 障害、(⑭) などの障害を引き起こす。
⑫ 呼吸 ⑬ 循環 ⑭ 排泄
 4. 呼吸器障害は、(⑮) 神経の (⑯) 番～ (⑰) に由来する神経障害によって起こる。人工呼吸器が必要な時もある。
⑮ 横隔膜 ⑯ C3 ⑰ 脊髄性
 5. 循環器障害は、(⑱) 神経の受容体 (⑲) 受容体、(⑳) 受容体を司る脊髄が障害されるため、(㉑) ショックを発症する。
⑱ 交感 ⑲ 交感 ⑳ 交感 ㉑ 脊髄性
 6. 排尿障害は、排尿を司る (㉒) 神経、(㉓) 神経、(㉔) 神経由来である。
㉒ 下腹 ㉓ 膀胱内臓 ㉔ 陰部

神経原性

脊髄

脊髄損傷 ... 高エネルギー外傷などが原因として、生じる脊髄の損傷で、頸髄が大半を占め、
 運動機能や感覚障害だけでなく、循環器障害や呼吸器障害・膀胱直腸障害なども生じる。

脊髄ショック → 弛緩性マヒ・反射消失・神経原性ショック・麻痺性イレウスを呈す。

C1-C3 ... 頸部の筋・四肢 ... 人工呼吸器・全介助

C4 ... 呼吸・両上肢 ... 会話可能・全介助

C5 ...

消化器障害は、交感神経 T6-L2 由来。直腸に分布する副交感神経は S2-S4 由来。
 沖上部位の損傷は、胃・十二指腸潰瘍・麻痺性イレウス・胆門括約筋の麻痺

疾病論1 単位認定試験 (小川) (22 回生) No 学生氏名

① 椎間板ヘルニア	② 脊髄	③ 神経根	④ 神経根
⑤ 腰部疼痛	⑥ 膀胱直腸障害	⑦ 下肢の疼痛	⑧ 脊髄性
⑨ 脊髄	⑩ 神経根	⑪ 間欠性跛行	⑫ 呼吸
⑬ 循環	⑭ 排泄	⑮ 横隔膜	⑯ C3
⑰ 神経原性	⑱ 下腹	⑲ 膀胱内臓	⑳ 陰部

⑰ C5

⑱ 交感

⑲ α

⑳ β

36
26

令和6年